メグスリノキ

紅葉の季節がやってきました。いちはやく朱に染まり始めるメグスリノキの葉が、日光に照り映えて、なかなかに美しいのです。



カエテの仲間で、3まいの小葉で一枚の葉を構成する3出複葉が特徴です。

江戸時代は、木の皮を煎じて洗眼薬として用いられました。 かつては、目や肝臓の治療に用いられて、珍重されたというこ とです。